

2017 年度決算 会社説明会：主な質疑応答

Q: 社長を引き受けた際の抱負について教えて欲しい

A: 〈みずほ〉の置かれた状況は決して順風満帆とはいえない状況。

そうした中で特に重要なことは『基礎的収益力の向上』であり、我々が本来持つポテンシャルを発揮する余地は十分ある。

また、これから金融業界では大きなパラダイムシフトが起こると捉えている。そうした中で、我々がもっとも価値のある金融グループを目指していくという観点から、情熱を持ってやりたいこと、やれることがたくさんあると考え、このポジションを引き受けさせていただいた。

Q: 政策保有株式の今後の方針を教えて欲しい

A: まずは 19 年 3 月末までに現行計画である 5,500 億円の削減(15 年 3 月末対比)をしっかりとやる。その上で、コーポレート・ガバナンスに関する報告書に明記しているとおり、政策保有株式は保有意義が認められる場合を除き保有しないとの基本方針に則り、追加的な取り組みが必要だと考えている。

Q: 経費コントロールの考え方について教えて欲しい

A: 足許のマクロ環境を見ると、トップラインと言うよりはむしろボトムラインベースでの管理を徹底していくことが肝要で、その観点から、経費コントロールは極めて重要。

日本の金融機関は単年度ベースで経費の増減を議論する傾向があるが、金融業界を取り巻く環境をふまえれば、それでは長期的な視野で経費構造を管理することはできないと考えている。

多少手間のかかるやり方にはなるが、複数年度で見てもみずほの経費構造を捉え、それをどの様にメリハリをつけて手を打っていくかという取り組みを進めていきたいと考えている。

以 上